

《トピックス》「食品衛生法」玩具の規格基準

規制対象にアクセサリや知育玩具が追加 乳幼児のおもちゃは食べ物と同様に

最近の食品を取り巻く状況は、国内外にかかわらず、さまざまな問題が生じています。食品衛生法では、食品など飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、もって国民の健康の保護を図ることが定められています。

昨年、アメリカ国内で販売された中国製の玩具から基準値を超える鉛が検出されるといふ事件が発生し、自主回収が相次ぎました。我が国でも東京都が行った調査によると、子ども向けに販売されている指輪やネックレスなどの金属製アクセサリの六割以上に有害な鉛が高濃度で含まれていると報告されています。



「食品衛生法に基づくおもちゃ規格内のおもちゃの塗膜試験」を行う検査員

【主な改正点】従来規制の対象外であったアクセサリ玩具、知育玩具などが規制の対象に追加された。従来は材質が紙、ゴム、合成樹脂など十種類の玩具が規制の対象であったが、改正後は全ての材質が対象となった。

乳幼児は、手に取るものを口に入れる習性があります。従って、乳幼児が遊ぶ玩具は、食べ物と同様に安全が確保される必要があります。当会でも、食品や器具、容器、包装だけではなく、玩具の安全性を確保するための検査を実施しています。

(認証検査課 中川圭太)

一步先行く食品管理



県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度をスタート。適合した施設は、商品に「認証マーク」を貼ることができる。当会は認証機関として、食品衛生管理の審査や指導などを行っている。このシリーズでは、当会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきたい。



認証日：平成17年10月28日 所在地：広島市中区江波本町 創業：昭和40年10月 話し手：専務取締役 久保 二彦 氏

鮮度を保持する温度管理を徹底 マークのある商品の流通は自信の証し

④ マルヒロ水産株式会社 事業内容について 主に、生力キと殻付カキの加工・販売を行っています。当社の商品は、全国の量販店、地元の百貨店などで取り扱っています。

近年は、まちの魚屋さんが減少していることから仲買を通じた販売ではなく、直接取引が多くなりました。仲買を通さない分、量販店や消費者などとの信頼関係がより深くなりました。また、当社が取り扱う原料

度は認証が、適正に管理していることの担保になると思われ、取得をめざしました。また、従業員にとっては良い刺激になり、結果として再教育の良い機会となりました。自ら設定した衛生管理ポリシー

カキは生ものですから、鮮度を保持するための温度管理を重視しました。昔は、経験に頼っていた部分もありましたが、安全で安心な商品をお届けするために必須の条件だと思っています。そのため、受付検収チェック表などを用いて、細かな記録を徹底しています。

また、原料と商品の定期検査も確実に行っています。消費者へのメッセージ 当社の商品ラベルのほとんどには、「食品自主衛生管理認証マーク」が印刷してあります。その商品が流通しているということは、自信を持ってお届けしているという証しです。消費者のみなさまには、このマークの意味とご理解をお願いしたいと思います。(インタビュアー・黒長ノ記 事・山下)

未来をつくる学生のエコと心

⑤ エコのコエ

地域活動を展開する中で、もっと若い力を呼び込めないかと考えたことはないだろうか。学生も自らの成長と未来を考え、活躍の場を探している。このシリーズでは、環境分野で積極的に活動する学生グループを紹介し、地域と学生のコミュニティ形成のきっかけを提供する。

組織名：エコのコエ 代表者：水野正紀 活動：小学生向けの環境教育活動 事務局：広島国際大学 広松研究室



スタッフと一緒に黒瀬川をスケッチする児童

シリーズ5回目は、小学生と一緒に身の周りの環境について考える広島国際大学「エコのコエ」代表水野正紀さんにお話をうかがいました。

エコのコエとはどのような組織ですか エコのコエとは、子どもをはじめ地域に環境や「エコ」について「コエ(声)」にして伝えようという意気込みをあらわしています。部員は工学部の住環境デザイン学科の学生10人。デザイン学科に所属していることから、「アート」「デザイン」という視点を持って活動しています。また、企画提案や活動を通じて、自ら環境について学ぶこともねらいとしています。

れている所を観察し、EM団子を投入しました。さらに、自分たちの身近な自然である川をよく見てもらうために、スケッチを行いました。植物や生物、魚など多くの絵が提出され、このスケッチを記録したいと考え、「黒瀬川環境図鑑」を作成し、小学校に寄贈しました。児童からは、「汚水の排出源は私たちの生活だよね?、何かできることはないかな?」などの「コエ」が聞こえてきました。

アート、デザインの視点で活動中 「黒瀬川環境図鑑」を作成

活動への意気込みを教えてください 今年度も引き続き、三坂地小学校の児童と環境学習を行います。事業を実施するのは、私たちにとっても大変勉強になります。このような地域コミュニティを大切にして、エコのコエを伝えていきたいと考えています。(地域支援課 馬場田真一)

食の安全・安心をめざした「広島県食品自主衛生管理認証制度」

広島県は、衛生の管理基準を満たした食品製造・加工施設を、県独自に認証する制度をスタートさせました。基準に適合した施設は「認証マーク」を商品に貼ることができ、消費者に行き届いた衛生管理をアピールできます。当会は、認証機関として県知事から指定を受け、認証に関わる業務を行っております。

食の安全・安心に対する社会的評価が高まります。

- ① 消費者から自主的な衛生管理の取り組みへの努力が評価されます。
② 第三者機関が認証することで客観的に評価され社会的信用が得られます。
③ 食中毒などの発生リスクが低減します。
④ 大掛かりな設備投資をしなくても衛生水準が上がります。

※右表は当会がこれまでに認証した施設名(平成20年7月現在)

問合せ先：〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 (財)広島県環境保健協会 環境生活センター認証検査課 TEL:082(293)1514 (ダイヤルイン) FAX:082(293)1531

Table with 4 columns: Facility Name, Address, Business Type, and Certified Company Name. Lists various food processing facilities and their corresponding certified companies.